

はなわ 議会だより

2023
No.164

発行／福島県塙町議会
令和5年10月20日



昔の脱穀「千歯こき」を楽しく体験！

昔ながらの農法による脱穀作業—塙小学校

9 月定例会

令和4年度決算認定・委員会質疑 … P 2 ~ 6
4回目のエール商品券事業を可決 … P 7 ~ 9
町政を問う(一般質問) …………… P 10 ~ 18
追跡レポート …………… P 19



塙町議会ホームページ
QR



塙町議会フェイスブック
QR



塙町議会X(旧ツイッター)
QR

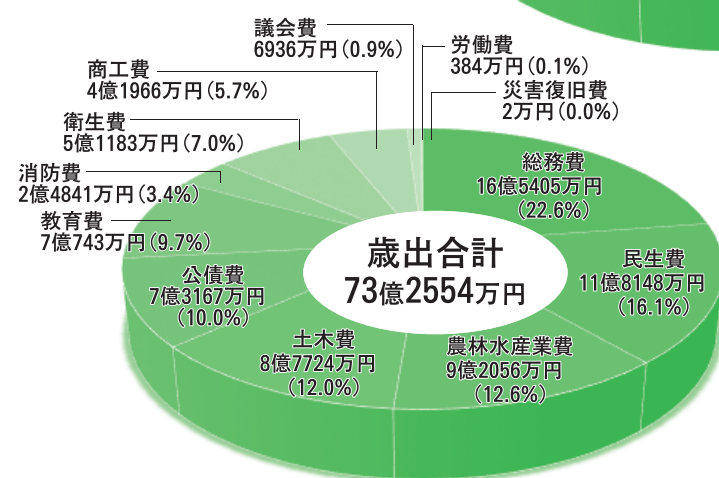
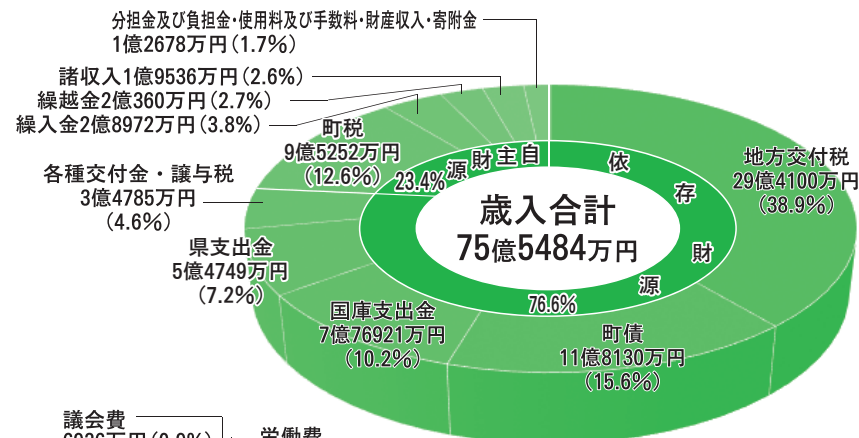
光熱費等助成事業や電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業、埴町エール商品券、町道川上東河内線道路改良工事、子ども第三の居場所新築工事など生活支援や住民生活向上のため実行された令和4年度決算。歳出決算額は、一般会計で73億2554万円となりました。

9月定例会の2日目(9月8日)に審議付託を受けた予算決算常任委員会(吉田克則委員長)で9月12日・13日に集中審議を行い、一般会計および特別会計等を全て認定すべきものとなりました。

委員会付託とは
本会議での審議を効率的に行うため、議決に先立ち委員会へ議案等の専門的な審査や調査を委ねること。

<特別会計決算>	歳入	歳出	差額
国民健康保険	10億276万円	9億6581万円	3695万円
後期高齢者医療	1億1212万円	1億1205万円	7万円
介護保険	11億9733万円	11億1922万円	7811万円
農業集落排水処理事業	1億5311万円	1億3687万円	1624万円
公共下水道事業	2億5499万円	2億1891万円	3608万円
上水道事業(収益的収支)	2億6736万円	2億3264万円	3472万円
上水道事業(資本的収支)※	0万円	1億6328万円	▲1億6328万円

※収入額が支出額に対し不足する額は、減債基金積立金、建設改良積立金などで補てん。



教えて
ザリちゃん!
◆財政用語の解説◆

- 【地方交付税】町の財政力に応じて国から交付されるお金
- 【国庫・県支出金】町が行う事業に対して国・県から補助されるお金
- 【町債】事業の財源に充てるため国などから借りたお金
- 【地方譲与税】国税である自動車重量税などが一定の割合で町に交付されるお金
- 【繰入金】積立金から取り崩したお金
- 【諸収入】延滞金、預金利子などのお金
- 【総務費】一般的な事務経費や財産管理などの経費
- 【民生費】児童や高齢者など社会福祉のための経費
- 【衛生費】集団検診などの経費
- 【農林水産業費】農業振興や農道・林道などの整備に係る経費
- 【商工費】商工業の振興や観光開発の経費
- 【土木費】町道や河川整備などの経費
- 【教育費】学校教育や社会教育などの経費
- 【公債費】事業を行うときに借りたお金の返済金

監査委員の意見



代表監査委員 金澤 忠良

個々の事業のコスト削減努力をするとともに、資金配分にメリハリをつけることが肝要

1. 決算概況
令和4年度の歳入歳出当初予算は、前年度をやや上回る規模。地上デジタル再送信システム機器更新事業、高齢者外出支援タクシー料金助成事業等が特徴である。一般会計・特別会計を合わせた決算額は、前年度比で歳入歳出ともほぼ同規模。実質収支比率(特別会計を除く)は5.1%と前年比1.7%上昇するも一応は適正な水準にある。滞納管理に関しては、ここ数年間において収入未済額が減少し改善著しい。また、不納欠損額については、関係法令による正しい処理が定着しつつある。
町債の状況は、一般会計・特別会計合わせた年度末残高は86億3600万円だが、この内75.9%が交付税措置対象となっており、町の実質負担額は町債の24%程度である。

2. 特別会計の状況
純計決算においては5特別会計すべて赤字だが、一般会計から総額5億8700万円の

繰り入れにより全会計で黒字。農業集落排水、公共下水道は、両会計とも接続率の向上と滞納使用料取り組みが課題。歳入のほぼ50%を一般会計繰入金に依存する収支構造は、町財政にとって大きな足かせとなることを懸念する。また、令和5年度から公営企業会計へ移行されたが、スムーズな事務移行を期待する。

3. 総括
健全財政を維持するため、歳入は有利な町債の活用と国県補助金等獲得への積極的取り組みが求められる。歳出面では、コスト削減努力は当然のこと、多様な全ての行政需要に応えることは難しいので、資金配分にメリハリをつけることが肝要と思われる。
上水道事業は、ここ数年における業務面での効率化、滞納整理強化、有収率の向上など地道な改善努力は認められる。しかしながら、現状は依然として「高コスト・低料金」に起因する明らかな不採算構造にある。持続可能な水道事業のため、利用者である住民に負担を強いることにはなるが、料金体系の全面的な見直しは避けられない状況にある。
町長のもと、職員一人一人が既存の考え方にとらわれることなく、新しい発想と改革意識を持って職責を果たすよう期待する。

(決算審査意見書より内容一部抜粋)

令和4年度 決算質疑

9月12日・13日に開催された予算決算常任委員会の質疑をピックアップ！

一般会計

まちづくり・くらし

行政手続きオンライン受付実績 転入・転出で計5件の利用

Q 行政手続きのオンライン受付環境構築業務委託の内容と実績。
A パソコンやスマホなどで、子育てや介護、引越などの手続きをワンストップでできる環境を整えたもの。転入3件、転出2件の利用があった。

地域活性化企業人制度の実績 サイクルーツリズムの支援など

Q 地域活性化企業人制度の実績は、グリーンスローモビリティ関連か。
A 実績としては「サイクルーツリズム」の支援。「塙の野菜とぬか

紅カブトエビ農法実証試験の調査内容 除草対策に可能性があり、令和6年度で結果を出したい

Q 紅カブトエビ農法実証試験委託は、予算に入っていたものか。
A 令和4年度当初予算に計上しており、振興作物生産奨励事業として実施。委託先は「四季彩菜工房」。カブトエビを活用した農業生産の可能性について調査を行った。
Q 知見を得たのかどうか。
A 最適なふ化温度を検証できたが、実際の水田でどのように再現できるかの調査が必要。
Q 費用対効果や先の見通しが不透明であり、時期尚早に感じている。いつ頃まで実施する計画か。
A 3年を目安に実施している事業である。令和6年度で結果を出したいと考えている。

塙の花写真コンクール入賞作品の活用 町PRのチラシやポスターなどに使用

Q 塙の花写真コンクール事業について、上位者の写真の町での活用・版權はどうなっているか。
A サクラ・ツツジ・ハス・ダリア・モミジの5部門で行い、応募総数は456人。991点あった。応募条件で、作品の著作権は撮影者に帰属しているが、使用权は観光協会に帰属するとしている。ダリア祭りのチラシ・ポスター、WEB広告の写真などに活用している。今後の計画は、役場窓口を設置しているモニターにコンクールの入賞作品をスライドショーで流す予定。

福祉・医療・子育て

権利擁護支援地域ネットワーク推進協議会 令和4年度に設置し4回開催

Q 権利擁護支援地域ネットワーク推進協議会の組織内容と委員数。協議会の開催数。
A 成年後見制度に係るもので令和4年度に設置した。委員は13名で、弁護士、司法書士、社会福祉士のほか町内金融機関、医療機関、棚倉警察署、塙町社会福祉協議会、民生児童委員協議会、地域包括



高齢者見守り事業 33人が活動し全地域で実施

Q 高齢者見守り事業だが、町内全地域で実施できているか。
A 令和4年度は33人が活動し、全地域で実施している。
Q 民間との提携先は。また、情報提供はあったか。
A 郵便局、金融機関と提携しているが、多くは民生委員からの情報提供があり共有している。
Q 宅配業者や新聞業者などと提携しては。検討していきたい。

令和4年度の事業実績【2】

町道川上東河内線開通
総事業費
4億7885万円



日陰解消事業
(立木伐採・立木補償)(八幡地内)
911万円



塙町エール商品券
(1人25000円)



令和4年度の事業実績【1】

マイナンバーカード交付枚数
3363枚(令和5年3月31日現在)



地デジ再送信システム機器
等更改業務委託
1億2650万円



庁舎建設第I期工事
(継続費)
5億4991万円



4回目の「エール商品券事業」可決 町民1人15000円

一般会計2億9831万円を増額補正



子宮頸がんワクチン
接種控えて受けられなかった方は19人が接種

Q 子宮頸がんワクチンの実績は。
A 小学生から高校1年生相当の年齢の方は22人が接種。令和3年度まで接種控えのため受けられなかった年齢の方（平成9年度から平成17年度生まれ）は19人が接種した。

誕生祝い品を違うデザインにアンケートを実施中

Q 誕生祝い品（花のつみき）だが、第2子以降は同じものが贈呈されるため、違うデザインを考えてみては。
A 今年度アンケートを実施中であり、今後の参考にする予定である。



誕生祝い品「花のつみき」

教育

いじめ問題
学校の対応により解消済み

Q 「いじめ防止対策委員会」の報告の中に、いじめの問題は指摘されているか。
A 埜小2件、笹原小6件、埜中52件の計60件の認知件数があった。その後、各学校の対応により全て解消済みである。いじめの内容はほとんどが悪口などの言動によるもの。

Q 「いじめ防止対策委員会」の報告の中に、いじめの問題は指摘されているか。
A 埜小2件、笹原小6件、埜中52件の計60件の認知件数があった。その後、各学校の対応により全て解消済みである。いじめの内容はほとんどが悪口などの言動によるもの。

就学困難な児童への援助
要保護は年々減少、準要保護は横ばい

Q 就学困難な児童への援助の詳細。最近の対象者（中学生も含む）の人数の推移は。
A 要保護・準要保護世帯の申請に基づき、学用品代や修学旅行代等の援助。要保護認定世帯児童・生徒は年々減ってきている。

要保護世帯・生活保護を受けている方
準要保護世帯・生活保護に準ずる程度に困窮している世帯

特別会計

介護保険特別会計
地域包括支援センターの移転経費を負担

Q 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費について、令和4年12月議会で補正増をしたが不用額が発生しているのはなぜか。
A 令和5年1月に地域包括支援センター事務室移転に伴う工事費用として変更契約を結んでいる。当初は、福祉会館内に高齢者支援係とともに事務室を設

Q 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費について、令和4年12月議会で補正増をしたが不用額が発生しているのはなぜか。
A 令和5年1月に地域包括支援センター事務室移転に伴う工事費用として変更契約を結んでいる。当初は、福祉会館内に高齢者支援係とともに事務室を設

公共下水道事業特別会計
北野地区集排施設と公共下水道への統合を検討

Q 北野地区集排施設の施設更新と公共下水道への統合についての比較検討の結果。
A 赤坂地区までである管路を竹之内地区の管路に接続し、公共下水道に統合できないかを検討したものである。

9月の会定
9月7日（木）から13日（水）までの会期で開催しました。条例3件、補正予算4件、前年度の一般会計および特別会計等の決算認定7件、財政関連報告2件が上程されました。また、最終日には財産の取得1件が追加議案として提出され、いずれも原案どおり可決・認定となりました。

一般会計補正予算

【主な内容】

- ◆商品券交付金 1億2068万円
国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、4回目となる埜町エール商品券事業を実施する。町民1人15000円の交付で、交付時期は年内を予定。
- ◆行政ポイント事業負担金 300万円
町が実施する事業への参加等の促進を図るとともに、地域経済の活性化に寄与するため、埜町行政ポイント事業を実施する。町からポイントを付与して、埜サーブ会加盟店で買い物をしていただくもの。
- ◆新交通（グリーンスローモビリティ）実証実験委託料 183万円
公共交通活性化協議会で協議の結果、再度実施するもの。
- ◆低所得世帯向け給付金 3300万円
物価高騰の影響を受けた低所得世帯の負担軽減のため、対象1世帯当たり3万円を給付する。
- ◆上渋井ハス園水道管引込工事費 320万円
年間8000人が訪れる上渋井ハス園に、上水道引込の工事を実施する。
- ◆送迎バス置き去り防止安全対策装置設置工事費 54万円
幼稚園児等の送迎に使用するバスへの安全装置設置が義務付けられたため、3台分（町所有2台、委託分1台）設置する。
- ◆向ヶ岡公園整備工事費 400万円
石碑移設およびサクラ支柱取替工事等を実施する。

質疑(条例)

審議結果一覧No.1

Q コンビニ等のマルチコピー機で取得するものは、役場窓口と同じものが発行されるのか。また、暗証番号等、悪用されないか心配だが。そのほか、発行の管理は。

A (町民課) 効力が同じものが発行される。暗証番号については個人管理のため、条例上の記載はない。証明書には番号を付与するほか、システムで管理できるようにしている。

審議結果一覧No.3

Q コンビニ等で発行した手数料は、経費を差し引いた額が町への収入となると思うが、その分の国からの補填・交付税措置はされるのか。

A (町民課) 1件200円が入るとなり、コンビニ手数料117円を支払うことになる。国の交付税措置はない。

質疑(補正予算)

審議結果一覧No.4

Q 子ども第三の居場所の国道側にフェンスを設置するということが、周辺の環境整備を同時

に工事を実施する考えは。

A (学校教育課) まずは安全確保のためフェンス工事のみを計上した。舗装部分については今後も検討していく。

Q 子ども第三の居場所の直近の利用率は。

A (学校教育課) 27名が登録しており、利用率は7割程度である。

Q 「はなわ」の魅力・情報発信事業委託の内容。

A (まち振興課) 現在行っている都市交流事業を拡充する。防災協定を結んでいる葛飾区・練馬区の職員や包括協定を結んでいる企業社員にリピーターとなっていたら、農産物の定期販売につながる計画。委託先は、埴町ふるさと産業おこし連絡協議会。

Q 林業・木材産業成長産業化促進対策補助金の減額補正の内容。

A (農林推進課) この補助金は、国産材の供給・利用量の増加を目標に、林業木材産業の生産基盤の強化のために、高性能機械の導入を支援する国の事業である。この事業に該当すると思われたため予算化したが、今年の6月中旬ごろに県南農林事務所より不採択になったと連絡があった。原因と

容。

Q 国産材の供給・利用量の増加を目標に、林業木材産業の生産基盤の強化のために、高性能機械の導入を支援する国の事業である。

この事業に該当すると思われたため予算化したが、今年の6月中旬ごろに県南農林事務所より不採択になったと連絡があった。原因と

健全化判断比率

4つの健全化判断比率で見る埴町の数値	令和4年度	令和3年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	— (赤字額なし)	— (赤字額なし)	15%	20%
連結実質赤字比率	— (赤字額なし)	— (赤字額なし)	20%	30%
実質公債費比率	10.2%	9.3%	25%	35%
将来負担比率	12.3%	12.3%	350%	—

資金不足比率

各事業別の資金不足比率	令和4年度	令和3年度	経営健全化基準
農業集落排水	資金不足なし	資金不足なし	20%
公共下水道	資金不足なし	資金不足なし	20%
上水道	資金不足なし	資金不足なし	20%

議案等の審議結果一覧表

No.	議案No.	議案内容	審議結果
No.1	議案第34号	埴町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正 マイナンバーカードを利用して、コンビニエンス等に設置している多機能端末機(マルチコピー機)で住民票の写しや印鑑登録証明書などの各種証明書の交付申請が行えることを条例中に定めるもの。	原案可決
No.2	議案第35号	埴町税特別措置条例の一部改正 地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第26条の地方公共団体等を定める省令の一部を改正する省令が施行されたことに伴い、町条例の一部を改正するもの。	原案可決
No.3	議案第36号	埴町手数料徴収条例の一部改正 マイナンバーカードを利用して、コンビニエンス等に設置している多機能端末機(マルチコピー機)で住民票の写しや印鑑登録証明書などの各種証明書が取得できるコンビニ交付の導入に伴い規定を追加(改正)するもの。	原案可決
No.4	議案第37号	令和5年度埴町一般会計補正予算(第3号) 歳入歳出それぞれ2億9831万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ72億6087万円とするもの。主な内容は、議会費、総務費、民生費など。	原案可決
No.5	議案第38号	令和5年度埴町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ3302万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ9億5620万円とするもの。主な内容は、総務費、基金積立金、諸支出金など。	原案可決
No.6	議案第39号	令和5年度埴町介護保険特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ5080万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ12億6772万円とするもの。主な内容は、総務費、保険給付費、基金積立金など。	原案可決
No.7	議案第40号	令和5年度埴町下水道事業会計補正予算(第1号) 第3条の収益的支出の予定額、第4条の資本的収入および支出の予定額、第7条に定めた経費の金額、第10条に定めた処分額の予定額について、それぞれ補正するもの。	原案可決
No.8	議案第41号	財産の取得 役場新庁舎議場システムの構築のため、議場システム(音響機器、映像機器など)・財産の取得について議会の議決を求めるもの。取得価額は1924万5996円。契約の相手方は、安積電気通信興業株式会社(郡山市)代表取締役 濱津 充。	原案可決
No.9	認定第1~6号	令和4年度埴町一般会計・特別会計歳入歳出決算の認定 令和4年度一般会計・特別会計の歳入歳出決算を、監査委員の意見を付して議会に提出し、認定を求めるもの。	認定
No.10	認定第7号	令和4年度埴町上水道事業会計利益の処分および決算の認定 上水道事業会計未処分利益剰余金を処分することについて、議会の議決を求めるとともに、令和4年度の上水道事業会計の決算を、監査委員の意見を付して議会に提出し、認定を求めるもの。	原案可決および認定
No.11	報告第5号	健全化判断比率 令和4年度決算に基づく健全化判断比率を、監査委員の意見を付して議会に報告するもの。	報告
No.12	報告第6号	資金不足比率 令和4年度決算に基づく資金不足比率を、監査委員の意見を付して議会に報告するもの。	報告

しては、要望件数・要望事業費が国の確保予算の2倍となったため、要望件数の48%しか採択にならないというもの。

議案審議

審議結果No.8

反対討論

使えるものは使って
システム構築すべき



吉田克則議員

提案内容は、議場内だけのシステムである。以前から使えるものは使うと言っているが、全て新品の購入になる。町民はお金をかけないで町民サービスを提供することを望んでいる。議会の様子をIP告知システム等でお知らせするのであれば理解してくれると思うが、使えるものは有効に使ってシステムを構築しなければならぬと思う。

採決結果

議案第41号 財産の取得	金澤太郎	菊地哲也	鈴木元久	吉村守広	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥與藏	吉田克則	鈴木茂	藤田一男	鈴木孝則	割貝寿一
原案可決 (賛成10、反対2)	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—

○賛成 ●反対
※議長(割貝寿一)は採決に加わらない。



質問 AI(人工知能)を活用する考えは

答弁 行政運営に利するものは活用すべき

質問 行政事務にAI(人工知能)を活用していく予定はあるか。

答弁 2040年ごろ、自治体運営は今の半数で担う時代が来るとも言われており、AIによって単純事務作業から解放し、人でなければできない業務に集中できる環境を整えることが急務と考える。

質問 チャットボットを活用する考えはあるか。

答弁 膨大な法律・規則に基づき、アウトプットを生み出す行政事務においては働き方そのものを変革する技術と云える。住民サービスとして、自動回答するプログラムが組めることから、24時間365日、問い合わせに対応可能となる。想定外

の質問に回答できない、人の感情をくみ取れないデメリットがあるが検討すべき時期にきていると考える。

質問 AI偏重により住民がサービスから切り捨てられる危惧がある。早期に条例化が必要ではないか。

答弁 冷たい行政になることが予見でき、無秩序な活用は危険。利用方針を定める条例を考えた。

●チャットボットとは
：コンピュータ上で自動応答を行うプログラムの総称。人間と疑似会話をを行うプログラムなど。



かなざわ たらう 金澤 太郎議員

AIに振り回されないで

一次産業の支援は

国レベルの対策が急務

質問 一次産業の担い手になろうとする者への取り組みは足りているか。

答弁 国レベルで憂慮すべき事態と考えており、機会あるごとに国に訴えていく。町でも農作業省力化支援事業等、独自の取り組みを進めている。

質問 人口減少対策のための移住者向け住宅提供策は足りているか。

答弁 実際の空き家に対し、空き家バンクの登録数が少ない。登録メリットの

周知徹底を図り、空き家情報提供ができるシステム構築を図る。

質問 独自の一次産業支援策を強化すべきと考えるが。

答弁 農業の担い手不足解消、大規模経営、働き方改革等、町の立場で検証していく。林業は、森林環境譲与税による森林整備を行うことで、山林の付加価値を高めることに注力していく。今後とも手を抜くことなく一次産業を支援してい

急激な人口減少のなか、どのような町を目指すのか

次世代へとつなぐ町づくり

質問 47都道府県で人口が減少に転じた、どのような町を目指すのか。

答弁 目指すべきは次世代へつないでいく町づくり。町を継続する基盤とするため、若い世代への支援の継続・地場産業、特に農林業の拡充・心の豊かさの

共有の3つを柱に、暮らしてよかったと思える町づくりを継続する。

質問 行政職員の数は適正か。

答弁 国県の方針により事務量が刻々と変化する中、適正な人員配置は難しい。横断的な組織であれば、適正な業務配分ができる。

質問 新庁舎開庁に合わせ、各課横断的な働き方ができないか。

答弁 ワクチン接種等では、各課が協力対応している。縦割りの運営が緩和されてきたのではないかと。横断的な働き方を実践していきたい。

P11



かなざわ たらう 金澤 太郎議員

- ・AI(人工知能)活用
- ・人口減少社会に向けた方向性
- ・一次産業政策

P12



ななみや ひろき 七宮 広樹議員

- ・脱炭素先行地域策定書
- ・宮田ビジョン・秦ビジョン

P13



しもじゅう よしと 下重 義人議員

- ・エール商品券事業
- ・消防団員
- ・体育館などへのエアコン設置
- ・バイオマス発電設備
- ・電気自動車検証結果と高齢者外出支援タクシー
- ・投票支援カード

P14



よしだ かつのり 吉田 克則議員

- ・町長の選挙公約
- ・埴厚生病院
- ・埴町振興公社への補助金等
- ・町政施策

P15



ふじた かずお 藤田 一男議員

- ・太陽光発電施設の設置抑止方策
- ・高齢者外出支援タクシー券

P16



あおと ようぞう 青砥 與藏議員

- ・コロナ感染症生活困窮者自立支援金
- ・農作業省力化支援事業
- ・久慈川河川堆積土砂搬入先の吉成公園
- ・久慈川河川清掃作業
- ・白河実業高校埴校舎

P17



きくち てつや 菊地 哲也議員

- ・上水道事業
- ・業務改革とDX推進
- ・再生可能エネルギー
- ・中学校部活動の地域移行

P18



すずき もとひさ 鈴木 元久議員

- ・町職員採用
- ・敬老会
- ・夏祭り(埴流灯花火大会)
- ・農作業省力化支援事業補助金

一般質問とは

議員が町長などに対し、行政全般にわたる事務の執行状況や将来の方針等を確認するものです。議会だよりに掲載している一般質問は、質問登壇議員自らが原稿を作成しています。

一般質問用QRコード



スマートフォンなどお持ちの方で、専用アプリでQRコードを読み取ると録画映像がご覧いただけます。



ななみや ひろき
七宮 広樹 議員

最後までやりきる
という努力!

脱炭素先行地域策定書 公募に間に合うのか

令和6年2月 第5回目の応募を予定

質問 遅れを取り戻す体制と、コンサルタントとの協議状況と内容は。
答弁 担当者の増員が最良であるが、現状は難しく粛々とコンサルと業務を進めていく。また提案に向けた事業内容や、共同提案者の選定方法等について協議を進めている。
質問 改めて協議会立ち上げ時期と、脱炭素宣言を行うタイミングは。
答弁 9月中旬以降に協議会の立ち上げを予定している。脱炭素宣言は「埴町ゼロカーボンシティ宣言」として、町のホームページ

●ゼロカーボンシティ宣言とは：2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目指す旨を首長自らが公表した地方自治体。

にて宣言、9月の広報紙にも掲載した。
質問 埴町の特色と強み、100地域に選ばれるための優位性は。
答弁 森林を活用した取り組み、今年「全国源流サミット」が開催される水、すでに民間事業者が計画をしている風力、この三本柱が中心になると考えている。
質問 改めて公募予定時期は。
答弁 令和6年2月に予定されている第5回に応募する。

宮田ビジョン・(埴流灯花火大会) 埴流灯大会協賛会の改革を

新しい協議会設立を検討

質問 新型コロナウイルス感染症も5類に移行し、コロナ禍の雪解けを迎えた今年は、町民も帰省者も埴流灯花火大会を楽しみにしていたが、早々に花火の打ち上げのみの開催を決定。その理由と今後の方向性は。
答弁 大型灯籠づくりの体制が整っていないことや、規模を縮小しての開催や来場者・出店の制限も難しいことが予想され、万一、感染が拡大し中止となった場合の出店に対しての影響を加味した決断。来年度以降

は通常開催ができるよう検討をしているが、以前どおりの協力が得られるか確認して進めていきたい。
質問 検証も行われず、埴流灯大会協賛会には「やる気迫」が乏しく、前向きな人材を適材適所に配置する組織改革が必要だと思っが。
答弁 時代や状況に合わせて開催の形態を模索する必要があると考え、若い人たちの意見を聞きながら、新しい協議会設立も視野に入れて検討したい。

秦ビジョン・(埴流灯花火大会) 一步踏み込んだ一貫教育の考えは

今後の方向性を協議していく

質問 埴流灯花火大会は町の意義ある伝統文化と、町民の心のよりどころとして開催され、子どもたちに木の町「はなわ」の木育として灯籠づくりが行われ展示がされている。できれば展示後に川に灯籠を流し、先祖を敬う一貫した体験が意義



木育で灯籠づくりを行う子どもたち

質問 埴流灯花火大会は町の意義ある伝統文化と、町民の心のよりどころとして開催され、子どもたちに木の町「はなわ」の木育として灯籠づくりが行われ展示がされている。できれば展示後に川に灯籠を流し、先祖を敬う一貫した体験が意義

その他の質問

・役場新庁舎工事の進捗状況と町民への周知と発信
・埴浄化センター施設について

4度目の埴町エール 商品券の考えは

地方創生臨時交付金を活用し 町民一人あたり15000円を

質問 物価高騰に見舞われている町内の消費喚起を促すためにも、4度目の埴町エール商品券事業の考えは。
答弁 町の経済対策として「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、町民一人あたり15000円の商品券を交付。



交付されるエール商品券

一価ワクチンを実施する。対象者は、生後6カ月以上で接種希望者のみとなる。

埴町立各学校の体育館施設へのエアコン設置は 避難所としても利用されるため必要性は高い

質問 最近の夏は異常なほど暑く体育館などは温室状態ではと思うが、良い環境の中での授業を受けるためにもエアコン設置の考えは。
答弁 体育館は地域の避難所としても利用されること

脱炭素に向けたバイオマス発電設備とは 地方自治体との共同提案者である

質問 埴林間工業団地周辺に、脱炭素社会に向けたバイオマス発電設備計画の実態は。
答弁 脱炭素先行地域に向け非常時の公共施設等への

電気の供給を含め、取り組みを盛り込んだ地方自治体との共同提案者である。

消防団員の人員確保と今後の組織編制は 入団者数も減少し班体制が維持できない班も

質問 ポンプ車および搭乗車が、有事の際に人員不足で活用なされないのでは。今後の班の組織編制を伺う。
答弁 管轄地域が広い

今年4月・5月に実証事業が行われた電気自動車の検証は 1日平均36・8人の利用者

質問 4月・5月に実証事業が行われた電気自動車(グリーンズローモビリティ)の検証結果は。
答弁 乗降人数は延べ1584人で、実証期間一日平均36・8人。アンケート調査の結果、高評価であった。

投票の際に使う投票支援カードとは 無効投票の防止策を含めて導入

質問 投票の際にお手伝いが必要な方が使う投票支援カードの内容は。
答弁 投票支援カードを提示することにより代理投票、車椅子介助などの提供はしているが、実態としては判読不能な文字で無効投票になるケースも多いため、今後需要がある場合には検討したい。

しもじゅう よしと
下重 義人 議員

健全な身体に 健全な心



よしだ かつのり 議員 吉田 克則

農地に隣接している法面は耕作者が草刈りをしている。ご苦労さまです

町長の選挙公約は

時間がかかってでも

質問

答弁

質問 国民年金で入れる老人ホームを造る選挙公約は。

答弁 軽費老人ホームの建設の思いは変わっていない。高齢者支援のための基幹施設建設、開設の後にサテライト的に4地区にサブ支援施設の開設を目指す。

質問 選挙公約は町民との約束ごと、守っていないが。

答弁 財政的に厳しい環境下にあった。財政の立て直しにかかった。台風19号災害、新型コロナウイルス、この状況をこなして、条件が整った中での新しい施策としての高齢者向けの施設設置を考えている。

質問 老人ホームを造らないとすれば、その理由は。

答弁 時間が多少かかってでも造る。町としてできる精一杯の努力を重ねた上で施設を建設する。

町民の心配事、埴厚生病院 移転は無いかを明言する

質問 町民の心配事、埴厚生病院町外移設の話が持ち上がっているが事実関係は。

答弁 埴厚生病院の運営委員会があつて厚生連の理事長が埴厚生病院を町外に移転することは全く考えていない話をいただいている。移転は無いかを明言する。

質問 町民の方は本当に心配している。町長からあいさつ等で町民の不安払拭ができないか。

答弁 厚生連の中の事情等がある。私からお話しすることではなく、聞かれればお答えする話をしていきたい。

(株)振興公社の関わり方は

湯遊ランド指定管理者に

質問 町と指定管理者団体との関わり方は。

答弁 株式会社埴町振興公社に5年間の指定管理者に選定している。湯遊ランドはなわ、古民家、ダリア園、多目的交流施設を管理している。

質問 町長が代表を務めている契約関係は。

答弁 町側は総務課長が契約者となっている。

質問 町は苦情とかサービス面で指定管理者にクレーム処理、指導はできるのか。

答弁 毎月1回、支配人・幹部職員と町担当課と会議をしている。経営、苦情があつた場合の対応している。



町道等機械草刈り作業で障害物になっている標柱等

一般質問

町政施策について、交付金等は

町民に平等に配る考え方で進む

質問 町政施策について、食料品や電気料金等が上がっている。町民の生活を守る観点から、交付金等の家計軽減策は考えているのか。

答弁 コロナウイルス対策費として国からお金がきている。生活支援、万全とはいかないまでも下支えになったと思う。国からお金がきた場合、町民に平等に配る考え方でこれからも進んでいく。

質問 町道および国県道の境界杭等が、機械草刈り作業で障害物になっている。境界杭等設置実態と障害物除去の施策ができないか。

答弁 町の場合、維持管理上、境界を明確にしておくことで隣接所有者とのトラブル防止になるもので原則道路改良工事の際に境界杭を設置している。原則、撤去は考えていない。林道・農道に関しては、現在のところは障害物除去に関する苦情はない。苦情があつた場合、ケースバイケースで個別に対応していく。

質問

太陽光発電施設の抑止策は

カーボンニュートラルとの兼ね合い

答弁

質問 近年、各地に太陽光発電施設が設置されているが、景観が損なわれていくと町民も心配されている。今後、耕作放棄地が増えていくと思われるが、何か考えがあるか伺う。

答弁 難しい問題である。しかし、美しい里山は守る。大規模開発による土砂災害の心配もあり、考えていかなければならない。

質問 大玉村では条例を制定しており、また、福島市でもこれ以上太陽光発電は望まない宣言をした。わが町でも太陽光発電を抑止する先進地になったらどうか。

答弁 大玉村では、出身者がマチュピチュ村の初代村長ということ、美しい村を守ってきたことから「日本で最も美しい村」連合に加盟して自然を大事にしてきたことから条例を制定している。埴町ではこのたび、全国源流の郷協議会に登録しサミットを開催する。

質問 大規模開発には災害もつきものである。熱海市の例もある。景観保護審議会要項はあるが景観保護条例はない。ぜひ策定していただきたい。また、資材の処分の仕方は決まっていないのが現状である。業者が事業を放棄してしまつたらどうするのか。

答弁 この町の景観はしっかり守っていききたい。一つの案として、業者から売り上げの一部を町に納めていた

タクシー券の不公平感の改善は

地域公共交通活性化協議会で検討

質問 現在タクシー券は大変好評であるが、距離の問題もあり不公平感がある。これに変わる方策の考えがあるか伺う。

答弁 お年寄りの引きこもりを防ぐことを踏まえて、地域公共交通活性化協議会で検討して始まった事業であり、福島交通との兼ね合いもある。福島交通には三千数百万円を支出しているが、国県で補助していただいている。今後の負担はない。今後、いつまで福島交通が運行するかは分からない。通学の問題もある。

質問 里美村（現在は常陸太田市）では、近所の方が登録しその方が送り迎えをする。支払いを利用者がチケットを購入して、それで払う不足分は市が払うという方法をとっている。そのような方法もあるが、どのように考えるか。

答弁 今は特別交付金で補われているが、これも本当に入っているか疑問である。ただ、必要な路線は守っていききたい。三千数百万円が入ってこなければ、タクシーで動いていた方が安くあがる。路線の見直しを含めいろんな方法があると思われるので、今後より良い方策を考えていきたい。



かづお 議員 藤田 一男

町民のための町行政に

質問 大規模開発には災害もつきものである。熱海市の例もある。景観保護審議会要項はあるが景観保護条例はない。ぜひ策定していただきたい。また、資材の処分の仕方は決まっていないのが現状である。業者が事業を放棄してしまつたらどうするのか。

答弁 この町の景観はしっかり守っていききたい。一つの案として、業者から売り上げの一部を町に納めていた



太陽光発電施設（イメージ）

一般質問



あおと 青砥 議員

かいがじしん 改過自新

国庫・県補助金の緊急交付金支給日は

11月までに町民に支給する

質問

答弁

質問 国庫補助の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、県補助の物価高騰対応生活困窮世帯緊急補助事業補助金の支給日を伺う。

答弁 県補助は令和5年6月1日現在、非課税世帯、高齢者世帯、障害者世帯、ひとり親世帯を対象に一世帯60000円、国庫補助は低所得世帯に30000円、全世帯にエール券15000円を支払う。対象者に書類を送付し、11月末までに支払いたい。

質問 支払い対応が遅れた理由は何か。

答弁 金額の確定が7月であったため、9月議会承認後になった。

農作業省力化支援事業補助金 交付先に行政関係者は不適格では

自己責任で対応すべき

質問 本事業の概要を伺う。

答弁 本町の農業は高齢化・後継ぎ不足等で耕作放棄地が進み、農業環境の改善のために農業の安全・収益性・省力化の機械の購入に支援するもので、対象者は営農集団・認定農業者・3戸以上の集団。本事業は令和4年度よりスタート。4年度対応できなかった方には、5年度で対応する。

質問 本事業は3分の2を補助するお徳な事業である。本事業を知

らない人が多いが、対象農家への広報活動を伺う。

答弁 埴町農業再生協議会において、新規事業として紹介した。農業団体、認定農業者だけお話しした経緯があった。今後は多くの方に広報する。

質問 行政関係者の補助金請求は、自粛することが町民に対して信頼関係を構築するためにも必要では。

答弁 補助金申請者の自己責任で考えてほしい。

堆積土砂搬入先の吉成公園までの道路修繕工事負担者は

請負業者の負担で修繕した

質問 搬入量が10万立方メートルとすると4万台以上の車両が運行したと考える。道路修繕工事の負担者は請負業者と

答弁 地域関係者、まち整備課の確認で、計8カ所の修繕を道路法22条の規定で請負会社負担で修繕した。

久慈川河川清掃作業

危険があればゴミ収集でよいと説明した

質問 今年度7月2日に河川草刈りを行った。埴6区が河川清掃を実施しなかったと聞くが、できない理由は何か。

答弁 防草シート工事が行われ、滑るなど危険があると考えれば、ゴミの収集のみでもよいと区長会で説明した。



水道料金の改定は

質問

令和8年度に値上げを予定している

質問 料金収入が経費の半分しかないが、今後の経営は。

答弁 経費削減と料金の値上げを検討している。

質問 経費削減はどこまでできるのか。

答弁 令和4年度に作成した資産管理計画を基に維持管理をしていくが、埴町は広いので設備等の統廃合による経費削減は難しい。

質問 料金値上げの予定は。

答弁 令和8年度を目標としている。

質問 物価高の中、町民への丁寧な説明が必要では。

答弁 令和2年度より広報はなわで「水と暮らし」を掲載しているが、今後一層説明し理解を得たい。

質問 町の水道技術管理者の現状は。

答弁 有資格者の年齢が上がってきているので、水道技術管理者の育成に力を入れていきたい。



ありがたい「水」

白河実業高校埴校舎 バックネットまでの道路を検討

質問 バスが通行できる施設にすべきと思う

答弁 南原住宅から校舎のバックネットまでの道路を検討している。

町のDXの考え方は

費用対効果を考えていく

質問 埴町のDX（デジタルトランスフォーメーション）の現状は。

答弁 マイナンバーを使ったかんたん窓口、オンラインによる口座振替、各種証明書のコンビニ交付等ができるようになってきている。

質問 町のDXへの考え方は。

答弁 どこにどう取り入れるのか、費用対効果、そして取りこぼしてしまっている人がいないよう、よく考えて進めていく。

部活動の地域移行は

地域移行検討協議会を立ち上げたい

質問 埴町の教職員の現状は。

答弁 さまざまな時間外勤務を削減し、現在は過労死ラインに達している教職員はいない。夏休みの5日間は一律に休みをとった。

質問 部活動を土・日は地域の人にお願するという県の方針について

答弁 地域移行検討協議会を立ち上げたい。

現在進めている再生可能エネルギーは

小水力発電、小型風力発電、木質バイオマス発電

質問 埴町が現在進めている再生可能エネルギーは。

答弁 小水力発電は（株）日本軽金属と協定を締結、小型風力発電は長岡技術科学大学が興味を示している。木質バイオマス発電は町内の企業が進めている。

質問 小水力発電は町のお金は使わないとしているが。

答弁 実証実験の2年間は予算化しない。

質問 太陽光をはじめ再生可能エネルギー設置と、町長の「町の原風景を守りたい」との整合性は。

答弁 程度の問題と考えている。

質問 環境省脱炭素先行地域の提案メニューは。

答弁 小水力発電、小型風力発電、木質バイオマス発電を3本柱と考えている。

きくち 菊地 議員

若い世代にツケは残せない

一般質問

一般質問

追跡レポート

あの質問はどうなったのか？

議員の一般質問の中からピックアップし、その動き・現在の状況を調査します。

大型遊具を配した公園整備は (令和4年6月定例会)

子どもを遊ばせるため、大型遊具を配した町外の公園に出向いてしまう。大型遊具を配した公園整備の考えはあるか。

答弁

ぜひ欲しい施設である

自然環境を生かしつつ、最大限町の魅力をアピールできるよう検討を加えていく。

その後

埴町振興計画（実施計画） (令和4年12月)

令和6年度「遊具および設置個所整備測量設計業務委託」、令和7年度「遊具等設置」として振興計画で計画される。



大型遊具（イメージ）

子ども第三の居場所の財源確保は (令和3年12月定例会)

子ども第三の居場所事業の現状は。新しい場所は決まっているのか、対象は。

答弁

代官所跡地を考えている

空き店舗で開設する予定だったが、代官所跡地を候補地の一つと考えている。財源は、運営費として年間約1000万円が3年間支援される。対象は、当初は子どもの貧困対策だったが、町の子どもたちをみんなで見守り育てることを基にする。

その後

令和5年6月「はなまるはうす」オープン

月・水・金の週3日、放課後より午後8時まで。遊びや食事、学びを通して過ごせるコミュニティ。夕食1食100円で、現在27名が登録している。



質問

令和6年度埴町職員採用 高校卒業程度の申し込み状況は

答弁

行政職3名

質問 高卒程度の採用年齢の引き上げは。
答弁 17歳から21歳までだが、引き上げは考えていない。
質問 募集は広報はなわ7月号の1回だけだが、その他の方法は。
答弁 ホームページに掲載している。
質問 現在の職員数と条例の定数は。
答弁 8月31日現在115名。条例では133名。
質問 人口に合った職員の数。
答弁 基準は難しい。
質問 任用職員は。
答弁 再任用は65歳まで、現在8名。



鈴木 元久議員

町民の皆さまに公平を！

地域敬老行事・80歳以上の人数は

9月1日現在1182名

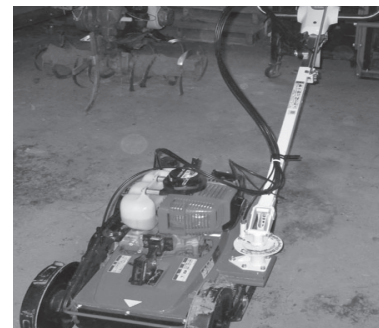
質問 行政区主催と聞いているが、実施する区と未申請の区は。
答弁 実施する行政区は31区。未申請の行政区は12区。
質問 長い間、町発展のために貢献した高齢者に対し、感謝の気持ちで全員に記念品等を支給しては。
答弁 9月15日に敬老祝金5000円を対象者全員に振り込みする。その他、申請のあった区には、記念品代と商品券代合わせて5000円分を対象者全員へ支給したい。
質問 夏祭り（埴流灯花火大会）を実施しなかったのはなぜか
コロナ感染の影響と協賛会の協議で決定
質問 来年は、町でも夏祭りといく前のように埴流灯花火大会の同時実施を望むが。
答弁 何十年も続けていける計画を立ち上げ、しっかりとした基礎をつくり新しい流灯花火大会の形づけをしていきたい。

一般質問

農作業省力化支援事業補助金 地域的片寄りがあっては

意図的ではない

質問 補助金の対象地区は。
答弁 令和4年度は、川上4区1件、東河内区3件、西河内区2件、山形区1件、片貝区1件、伊香区1件で合計9件。
質問 令和5年度の申し込み状況は。
答弁 東河内区1件、常世中野区2件、竹之内区1件、上波井区1件、中塚区1件の合計6件。
質問 地域によっては、全く知らなかったという人が多数いた。町民の皆さまに、平等に周知してほしいと思うが考えは。
答弁 今後、広報はなわ等を利用して情報発信していきたい。
質問 法面畦畔草刈機に金額の差があるのは。
答弁 個人購入によって、排気量と重量の差またメーカーによって差が出ている。
質問 補助金で購入した草刈機等を町道や県道の草刈りに等利用した場合、二重の補助金支給になるのでは。
答弁 省力化補助事業目的であって、要綱上問題は無い。
質問 会員以外の人に貸し出しはできるのか。また、他の人の土地の草刈りをすることはできるのか。
答弁 請負でなければ可能。
質問 購入した機械および器具の転売、また耐用年数は。
答弁 車体番号を控えてある。転売等ないよう注視していく。機械ごとに法定耐用年数は決まっている。



畦畔草刈機

所管事務調査レポート

総務常任委員会

マイナンバーカードの仕組みと状況および今後の活用



・調査日 令和5年7月18日(火)
 ・場所 委員会室
 ・出席委員 下重義人委員長
 ほか委員全員
 (計7名)

・調査のまとめ

マイナンバー制度は、行政の効率化、利便性向上、公正公平な社会の実現のため発足した。マイナンバーカードは、マイナンバーが記載されたICチップ付きのカードで、本人の顔写真があり身分証明書として利用できるほか、保険証としての利用、確定申告、コンビニでの証明書の発行など活用の範囲が広がっている。埴町では6月末現在6389枚交付されており、交付率は77・96%となっている。今後の活用については、令和6年度秋に保険証と一体化となり、運転免許証としても使用できる予定。町としての活用方法は「書かない窓口」「コンビニ交付サービス」「引越越しワンストップサービス」「びったりサービス」の運用を開始し、町民の利便性の向上に取り組む予定。マイナンバーカードは行政の効率化、町民の利便性の向上のためにますます重要になってくると思われる。これからも手続き時に誤りのないよう事務の徹底を期待するものである。

・調査のまとめ



経済常任委員会

防災倉庫の状況と防災備蓄品の管理

・調査日 令和5年7月13日(木)
 ・場所 委員会室
 防災倉庫
 (旧常豊小学校跡)
 ・出席委員 七宮広樹委員長
 ほか委員全員
 (計6名)

令和5年度は防災備品の充実のため、大型炊き出し機・段ボールベッドおよびパーテーション・その他122万4300円を購入。また、効果的な活動を行うため、職員の重機研修、消防団員の救助艇操作研修、社会福祉協議会の炊き出し訓練・避難所開設訓練も予定されている。緊急メデイカルセットや災害ゴミ置き場の再検討、防災倉庫のセキュリティ強化に取り組み、異常気象での予測不可能な天災に対応する防災拠点整備である。

ひとことインタビュー

令和5年9月定例会の傍聴者へインタビューを実施し、感想や意見をいただきました。



いさか かねひろ
井坂 甲子広さん(植田)

議員を削減し、町民の信頼を確固たるものに

―傍聴したきっかけは

議会傍聴は2度目です。一般質問での議員と執行部のやり取りは緊張感があり、内容的にも大変興味深く傍聴できました。ただ一部の答弁が聞き取れなくて残念でした。

―町に対する要望や意見

タクシー券は町民が大変助かっています。財政もあると思いますが、枚数を増やしてもらえるとありがたいです。また、今年もエール商品券が出されますが、何でも高くなる中、少しでも町民のくらしにそして地域経済に効果が上がることを期待しています。

―議会に対する要望や意見

町の人口に対して議員が多いと感じます。削減をし、町の支出を少しでも減らすべきだと思います。

―地域からの要望への

活動、町執行部へチェック機能がなされているかなど、議会の役割は大変重要だと思っています。ぜひ、議員を削減して町民の信頼を確固たるものにしていただきたいと思います。



議会だより モニターさんの声

①表紙・裏表紙

- 現代は英語が大切な時代だと思う。タイトルにもあるように「英語を楽しく学ぼう」と真剣に取り組んでいる姿がうかがえる。
- 写真にもあるように、生徒の数が少ないのが全国共通の悩みであり、現実だと思います。「みんないきいき」では、11名の会員が山野草を通して親睦を深めている様子が良いと思う。

②3～5ページ（6月定例会）

- 補正予算の内容は、それぞれ議論した結果、必要であると議会でも認めたので、早急に執行することが望まれる。やはり、庁舎建設第Ⅰ期工事の進捗状況が町民の関心であると考えてるので、これからも広報誌等でその都度知らせてほしいと思う。
- 農業担い手・後継者不足は、生産にかかる資材等が高騰し、さらに深刻な状況。埴町で就農される方への支援事業の充実に期待したい。
- 各質疑に審議結果一覧との対象ナンバーが付いていて見やすくなった。

前回7月21日発行の議会だより第163号に対する議会だよりモニターの声を掲載します。

③6～14ページ（一般質問関連）

- 埴工業高校跡地の活用については、どのように土地を活用したら有効活用ができるのかを模索している様子が伺われ、早急に議員・町民とともに最善の策を検討する必要があると考える。
- 人手不足は深刻、特定地域づくり事業協同組合制度の早期検討を。
- グリーンスローモビリティの件は、笹原・那倉・片貝・田代の方まで足を延ばしてもらわないと、タクシー券だけでは病院や買い物に通いきれない方が多いと思われる。
- こども支援室について、現在複数の課に別れている業務を全て担うようにするのは大変なことだとは思いますが、できるだけ早急に実現することを期待している。

④その他

- あの質問はどうなったのか？ のページにはとても関心がある。忘れかけていた質問に、その後の動き、対応がどうなっているのかにとても興味がある。
- 各議員さんの日頃の活動内容についても、広報のページがあっても良いのではないかとと思う。

町議会ホームページ 議会の様子(一般質問)を視聴できます



「埴町ホームページ」→「埴町議会」→「議会中継」をクリックすると動画を視聴できます。
※議会終了後、2～3週間後の配信になります。
※その他の質疑は、「会議録」をクリックしご覧ください。

私もひとこと

委嘱されたモニターさんに議会だよりへのご意見をいただきました。

議会だよりを毎号読んでみると、さまざまな町の政策や課題が見えてきます。2年間のモニター活動を通して、町民一人一人が積極的に町政について考えて発表していくべきだと強く思うようになります。

なりました。町の問題は、暮らしている私たち自身の問題でもあります。幅広い世代が他人事ではなく自分事として声を出していけると良いのではないのでしょうか。現状、町民が気軽に意見を発表できる場は少ないように思うので、そういった場の創出にも期待しています。



すずき あやの
鈴木 彩乃さん
(台宿)

町の問題は私たち自身の問題

今後の議会スケジュール



- ◆ 10月23日(月) 町村議会議員研修会(郡山市)
- ◆ 10月27日(金) 議会報告会・意見交換会(防災センター)
- ◆ 11月6日(月)～8日(水) 総務および経済常任委員会合同行政視察研修(徳島県)
 - ・ 神山町
 - ①神山町創生戦略「まちを将来世代につなぐプロジェクト」
 - ②移住交流事業・サテライトオフィスの取り組み
 - ・ 徳島木のおもちゃ美術館
 - ①木育事業の取り組み
 - ・ 上勝町
 - ①葉っぱビジネス(彩事業)
 - ②彩農家訪問

議会活動出欠状況

令和5年7月1日 ～ 令和5年9月30日

年月日	会議名称	金澤太郎	菊地哲也	鈴木元久	吉村守広	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥與藏	吉田克則	鈴木茂	藤田一男	鈴木孝則	割貝寿一
委員会														
5.7.5	広報常任委員会(議会だより編集)	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-
5.7.12	広報常任委員会(議会だより編集)	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-
5.7.13	経済常任委員会(所管事務調査)	○	-	○	-	○	-	○	-	-	○	-	-	○
5.7.18	総務常任委員会(所管事務調査)	-	○	-	○	-	○	-	私用 遅参	○	-	○	○	-
5.8.30	議会運営委員会(9月定例会運営)	-	-	-	-	○	私用 遅参	-	○	○	○	-	○	○
5.9.8	総務常任委員会(閉会中審査内容決定)	-	○	-	○	-	○	-	○	○	-	○	○	-
5.9.8	経済常任委員会(閉会中審査内容決定)	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○
5.9.8	広報常任委員会(閉会中審査内容決定)	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-
5.9.12	予算決算常任委員会(令和4年度決算審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5.9.13	予算決算常任委員会(令和4年度決算審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5.9.13	議会運営委員会(追加議案)	-	-	-	-	○	○	-	○	○	○	-	○	○
5.9.13	議会運営委員会(議会の検証)	-	-	-	-	○	○	-	○	○	○	-	○	○
定例会														
5.9.7	9月定例会(1日目:議案説明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5.9.8	9月定例会(2日目:議案説明、委員会付託)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5.9.11	9月定例会(3日目:一般質問6名)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5.9.12	9月定例会(4日目:一般質問2名)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5.9.13	9月定例会(最終日:議案審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
全員協議会														
5.9.1	全員協議会(9月定例会の日程ほか)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5.9.8	全員協議会(議員の定数と報酬)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5.9.13	全員協議会(追加議案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○出席 - 該当外

議員は会議に出席する義務があり、正当な理由がなく欠席すると罰せられることがあります。議会では欠席の正当な理由として、配偶者・親族の葬儀(忌引)、病気・けが(傷病)、突発的事故(事故)、その他議長が認める場合です。表ではそれぞれ、忌引、傷病、事故、その他と表記し、それ以外の正当な理由外の欠席の場合は私用と表記しました。

皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：県道塙大津港線「もみじを育てる会」
 会 長：神永 哲彦
 活動場所：県道塙大津港線那倉川沿い
 会 員：27名
 連絡先：庶務 鈴木 文芳 TEL43-0909

もみじの植栽と保護を主に、地域活性化と自然環境保護および沿線の美化に努める

県道改良により那倉川溪谷の名物もみじが伐採され残念に思い、沿線の大蔵・大畑・那倉地区住民にもみじ溪谷の再生に賛同を求め、1992年(平成4年)11月に36名で発足しました。

年間2回のもみじ周辺の雑草の除去や沿線の景観維持と交通支障木の除去等を毎年実施。平成14年・沿線鞍掛地内に「四阿(あずまや)」を会員の手で建設し、会のシンボリック施設となりました。平成28年から地域以外の方にも「那倉川溪谷」のもみじを見て楽しんでもらいたいと「もみじ祭り」を年間計画に入れ、令和元年からは「ポタリングはなわ」を同時開催。昨年12月には、結成30周年記念式典を実施。これからも、沿線の名勝の保護

と「もみじ」の撫育^{ぶいく}と景観美化に努めています。

今年も11月5日(日曜日)に「もみじ祭り」を実施します。温かい豚汁でおもてなしします。ぜひお出てください。

② 撫育^{ぶいく}・・・常に気を配り、大切に育てること。



これからも「もみじ愛」を胸に活動していきます

編集後記

コロナウイルス感染はいまだ終息せず、収入の減少により家計の負担は厳しい状況の中、併せて物価の高騰や燃料の高騰。町では4度目の「塙町エール商品券」の配布や低所得世帯向け給付金等の支給により、町民の生活費の一部に役立つことと思います。

6月27日・町村議会広報研修会が、福島市の文化センターで広報委員6名が参加し、はなわ議会日より162号もクリニックを受け、良い点・改善点などを指摘されました。今後も町民目線で議会だより作成に努力していきたいと思えます。

鈴木 元久



あなたも議会を傍聴してみませんか

令和5年12月定例会は12月7日(木)からの予定です

場所 役場2階 議場

詳しい日程は、議会運営委員会で決定後にホームページ等でお知らせします。



10月臨時会(10月16日開催)の内容は、次号に掲載します。

広報常任委員会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
金澤	鈴木	吉村	吉田	菊地	青砥
太郎	元久	守広	広明	哲也	與藏